

上智大学文学部

横断型人文学プログラム

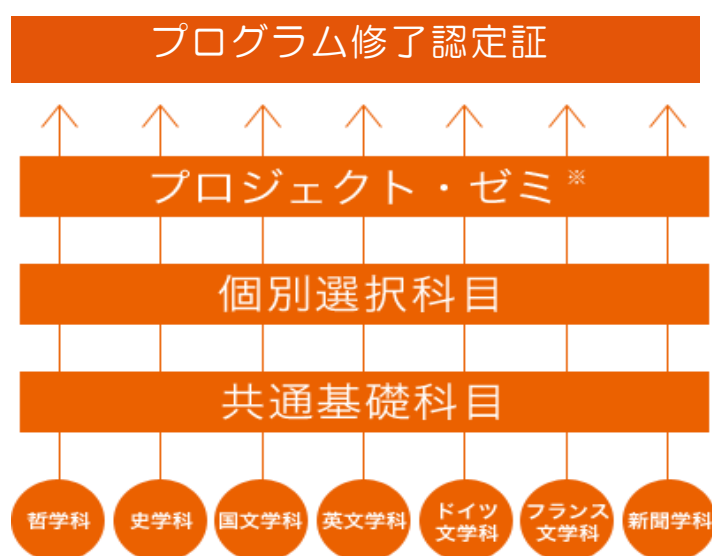
履修ガイドブック 2018

文学部横断型人文学プログラム履修ガイド

プログラムの概要

文学部横断型人文学プログラムは、2015年度から新しく設けられたプログラムです。「横断型」と呼ばれるのは、主に文学部の学生が学科の枠を超えて履修できる学部共通のクラスだからです。人文学の視点をコアにして、専門の枠に縛られることなく自分の興味の幅を広げてみたいという学生のためのプログラムです。意欲をもった学生の参加を期待しています。

(プログラムの詳しい説明は、『履修要覧 [学科科目編]』の28ページを参照してください。)



1～2年次の間に「共通基礎科目」、2～4年次で「個別選択科目」、3年次か4年次の春学期か秋学期に「プロジェクト・ゼミ」をとって、プログラム修了に必要なとされている単位（18単位／9科目）を全てとり終えると、卒業時に「プログラム修了認定証」が授与されます。

(修了認定証の申請・交付手続きは、LOYOLAで公示します。)

3つのコース

コースは3つあります。「身体・スポーツ文化論コース」「芸術文化論コース」「ジャパノロジー・コース」です。「共通基礎科目」をとりながら自分の興味を探り、コースをひとつに絞ります。それぞれのコースで指定されている「個別選択科目」と「プロジェクト・ゼミ」を履修します。

(各コースの詳しい説明は、『履修要覧 [学科科目編]』の28ページ2を参照してください。)



身体・スポーツ文化論コース

IOC 国際オリンピック委員会が公認するスポーツに、チェスやブリッジが入っているのをご存知ですか？「スポーツ」というとサッカーや野球といった「運動競技」を思い浮かべられると思います。しかし、「スポーツ」の語源は「心と身体を非日常に運ぶ」という意味の紀元前5世紀頃のラテン語 *deportare* で、「スポーツ」には「運動競技」だけではなく「気晴らし」「暇つぶし」「ふざける」といった意味もあります。チェス、ブリッジ、囲碁などは、身体の一部「脳」の思考力を競う「マインドスポーツ」であり、複数のプレイヤーで対戦するコンピュータゲームは「e スポーツ」と呼ばれ 2022 年のアジア大会では正式競技となります。またキャンプのような競わない活動もスポーツなのです。このコースでは、身体と心の関係や、大きな力をもつ「スポーツ」という偉大な文化を人文学的観点から検証して人間を考えます。今年度の「プロジェクト・ゼミ」の主要テーマは、「オリンピック・パラリンピック」です。



芸術文化論コース



芸術文化とは、人間の知的・精神的活動に大きく関わるものです。このコースは、芸術の様々な分野の研究をとおして、各学科での学びに新たな視点をもたらすことを目的としています。今年度の「個別選択科目」には2講座あり、「造形芸術の世界」(コーディネーター・桑原俊介)では、6名の講師をお迎えし、建築、彫刻などにくわえ、ファッション、さらにはアート・マネジメントについても講義していただきます。また、「映像文化論」は、黒澤明など日本映画に詳しい日大芸術学部の古賀太先生にお願いしました。「プロジェクト・ゼミ」も2講座が開講されます。「プロジェクト・ゼミ B」(音楽 担当・飯野友幸)ではアメリカのポピュラー音楽の文化比較について、また「プロジェクト・ゼミ C」(造形芸術 担当・吉村和明)ではフランス 19 世紀末のポスター文化について、それぞれ研究を進めてもらいます。

ジャパノロジー・コース

現在、テレビや雑誌などには、日本を手放しに称賛する言説が溢れていますが、それらに躍るステレオタイプの日本像からこぼれ落ちてしまうものにこそ、本当に豊かな魅力が隠れているのではないのでしょうか。先年大ヒットした映画『君の名は』にも登場した四谷の鎮守・須賀神社は、八岐大



蛇を退治したスサノヲを祭神としていますが、江戸時代以前には、京都祇園八坂神社の疫病の神・牛頭天王を祀っていました。スサノヲの姉である伊勢神宮のアマテラスにも、蛇の姿をしているとか、男性であったと考えられた時期があったのです。それはなぜなのでしょう。時間を遡り、空間を広げてゆくと、日本は今までとはまったく違う姿をみせてくれます。今年度は、フィールドワークとメディア・ドラマ、2つの視点から学びを深めてゆく「プロジェクト・ゼミ B」,「プロジェクト・ゼミ C」も開講されます。本コースの授業を通じて、ぜひ新しい〈日本〉を発見してください。

プログラムの履修方法

1年次～
2年次

共通基礎科目

コースを選択する前に、まず1年から2年の間に「共通基礎科目」を履修します。人文学的な視点を養うとともに、コース選択をするにあたって自分の「自分の興味のありか」を探るための科目です。「テキストを読む」（春学期）と「文化交渉入門」（秋学期）の2科目からなります。それぞれ複数の教員が2週ずつ講義する「輪講」という形式で行われます。

（『履修要覧 [学科科目編]』の29、30ページ、およびLOYOLAのシラバスを参照してください。）

「テキストを読む」

「テキスト」というと文字で書かれたものを思い浮かべるかもしれませんが、ここで言う「テキスト」は文字だけではなく、たとえば史跡や遺物などの物、絵画、映像、身体など、おおよそ「読んで解釈できるもの」すべてを指します。それぞれの「読み方」を学ぶのがこのクラスです。

「文化交渉入門」

外来文化を受け入れたり、自国の文化を海外に発信したりする時に起こるさまざまな文化変容についての理解を深めるクラスです。文化交渉は国家間だけでなく一国内でも生じます。文学・美術・音楽・演劇・スポーツ・思想・宗教などが、異なる文化でどのように受けとめられ、変化してきたかを、過去と現在の事例を通して検証します。

この2科目はプログラムを修了するために全員がとらなければならない「プログラム必修科目」（各2単位）です。開講日時は金曜日の5時限目で、各150名定員の抽選科目になっています。

2年次～
4年次

個別選択科目

コースを決めたら、コース毎に決められた「個別選択科目」を履修します。主に2年次～4年次に12単位（6科目）をとります。「プログラム科目」は、各コースが独自に開講する「プログラム開講科目」と、文学部や他学部で開かれている既存の科目のうちでコースが指定する「プログラム指定科目」を指します。「自由選択科目」は、上記以外の科目で学生が自分の問題意識にあわせて履修したものを申告し、条件を満たせば、プログラム運営委員会が認定する科目です。コースの選択科目として開講されていない授業でも、自分が興味をもつテーマと強い関連があると思われる科目があれば、履修後に「文学部横断型人文学プログラム個別選択科目（自由選択科目）認定申請書」を提出し、認定を受けてください。

科目種別と履修形態（標準配当表）

科目種別	履修形態	1年次		2年次		3年次		4年次	
		授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
共通基礎科目 (4単位)	プログラム 必修	テキストを読む		2					
		文化交渉入門		2					
個別選択科目	プログラム 開講科目 (6単位)	プログラム 選択必修	選択したコースのプログラム開講科目から6単位を履修 *2					6	
	プログラム 指定科目 および 自由選択科目 (6単位)*1	プログラム 選択	選択したコースの科目から履修 A群:プログラム科目 ・「プログラム開講科目」*2 ・「プログラム指定科目」 B群:自由選択科目 *3					6	
プロジェクト・ゼミ (2単位)	プログラム 選択必修					プロジェクト・ゼミ (選択したコースから1科目を履修)		2	

*1. 履修可能年次については、科目によって異なり、1年次から取れるものもあります。

*2. プログラム選択必修科目を6単位以上履修した場合、その超過分をプログラム選択の科目の単位として参入できます。

*3. 自由選択科目の認定は申請によります。申請の際は別紙申請書を使用してください。様式は横断型人文学プログラムの載っている文学部 HP にもあります。(URL : <http://www.sophia-humanities.jp/>)

(開講予定科目については、『履修要覧 [学科科目編]』の 31～35 ページを参照してください。なお、これらは現在予定されているものです。科目名、内容については変更の可能性があります。)



プログラム修了のために、3年次または4年次の春学期または秋学期に必ずとらなければならないのが「プロジェクト・ゼミ」（選択必修科目／2単位）です。ゼミは、コース毎に設けられる最大15名程度の少人数のクラスで、参加学生の興味にあわせて作りあげていくものです。ゼミの研究テーマは、教員が提示する場合と学生が提案する場合があります。ひとつのテーマについて複数の学科の学生が協力してリサーチ、分析、場合によってはフィールドワークを行うこともできます。そして、最終的にプレゼンテーションへつなげていきます。研究成果の発表会も行う予定です。少人数のゼミにするため、以下のような履修資格条件があります。

- ① 3年次以上であること
- ② 2年次末までに「共通基礎科目」（4単位）を修得済みであること
- ③ 申請時の GPA（全履修科目の成績の平均）が 2.5 以上であること
- ④ 書類審査を通っていること

①～③の条件を満たし、ゼミ履修を希望する学生は、秋学期ゼミの場合7月前半、春学期ゼミの場合1月末までに、次ページに示す書類をプログラム運営委員会に提出し、委員会によって審査・選考されます。書類提出要領は、毎年『履修要覧 [学科科目編]』に記載されますので注意してください。

（「プロジェクト・ゼミ」については、『履修要覧 [学科科目編]』の 30 ページを参照してください。）

プロジェクト・ゼミの履修方法

プロジェクト・ゼミを希望し、要件を満たしている学生は、以下の手続きを行ってください。

秋学期ゼミに関しては6月中旬、春学期ゼミに関しては1月初旬までに、①プロジェクト・ゼミ申請要項、②募集するプロジェクト・ゼミの概要、③「プロジェクト・ゼミ履修申請用紙」（以下「申請用紙」）が、文学部HP上の「お知らせ」（<http://www.sophia-humanities.jp/news/index.html>）に公開されます。ここからダウンロードした申請用紙に必要事項を記入のうえ、必要書類を添えて、秋学期ゼミは7月13日（金）、春学期ゼミは1月30日（水）までに、文学部長室に提出してください。

【申請用紙に書く事項】

- 1) 氏名、学部学科・学籍番号、連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）
- 2) 希望コース、希望するゼミ（優先順位2位まで）
- 3) 希望理由（200字程度）
- 4) 研究したい自分のテーマとその内容（400字程度）
- 5) プログラムの「履修済み」・「履修中」・「履修予定」の科目名

【添付書類】

- 1) 成績表（申請時点のもの）
- 2) 個別選択科目（自由選択科目）認定申請書（希望する科目がある場合）
- 3) 自由選択科目として認定を希望する科目のシラバス（希望する科目がある場合）

プロジェクト・ゼミ受講者は、プログラム運営委員会で選考し、その結果は、秋学期ゼミは8月上旬、春学期ゼミは2月中旬に、LOYOLA上で本人に通知します（追加や変更が生じた場合は、秋学期ゼミは9月中旬、春学期ゼミは3月下旬までに本人に通知します）。選考に通った学生のみがゼミを履修できるので、該当する学生は履修登録期間に、LOYOLAで各自忘れずに登録してください。

* 留学中の学生へ

申請用紙の提出は受け付けますので、申請用紙を、秋学期ゼミの場合7月13日、春学期ゼミの場合1月30日までに、メール添付ファイルで、このガイドブック末尾にある「履修相談窓口」のアドレスに送ってください。その際、成績表を提出できる時期を申請用紙の備考欄に記し、帰国後すぐに文学部長室に追加提出してください。

* 留学・休学・編入・転部科など特別の事情がある学生は個別に対応しますので、申請用紙の備考欄にその旨を書いてください。

* わからないことがあれば、「履修相談窓口」にお問い合わせください。

Q 1. プログラムを途中でやめたり、プロジェクト・ゼミの選考に落ちたりした場合、取得した単位は無駄になってしまうのでしょうか？

A. いいえ、プログラムのために履修した科目の単位は、以下のように卒業に必要な単位に充当することができます。ただし、「プロジェクト・ゼミ」（2単位）は、卒業に必要な単位に充当することができません。

(1) 「共通基礎科目」及び「プログラム開講科目」は、他学部・他学科科目を履修し取得した単位と合わせ、各学科で認められている範囲で卒業に必要な単位に充当することができます。

(2) 「プログラム指定科目」および「自由選択科目」は、自学科で開講されている科目については自学科選択科目の単位として、「全学共通科目」として開講されているものは全学共通科目の単位として、他学部・他学科の科目は、上記（1）と同様に、卒業に必要な単位に充当することができます。

Q 2. 「プログラム指定科目」の中に全学共通科目が入っていますが、これも卒業単位に含まれるのでしょうか？

A. 含まれます。ただし、この場合、各学科で定められている「他学部他学科科目の自学科選択科目の卒業単位として充当される科目」としての扱いにはならず、全学共通科目の単位として計算されます。

Q 3. 1年次に「共通基礎科目」の抽選登録から外れ、2年次に再び履修を希望し登録したものの、再度、抽選から外れてしまった場合はどうしたらよいのでしょうか？

A. 1年次に抽選から外れた2年次については、優先的に登録できる設定をしていますが、それでも抽選から外れたことが分かったら、履修登録期間内に、速やかにこのガイドブック末尾にある「履修相談窓口」に相談してください。

なお、抽選科目は各自の履修計画に従って慎重に登録してください。（抽選科目に関する注意は、『履修要覧』の「抽選科目について」を参照してください。）

Q 4. 「プログラム必修」「プログラム選択必修」「プログラム選択」と通常の「必修」「選択必修」「選択」の区分とはどう違うのでしょうか？

A. 「プログラム」という言葉がついているのは、プログラムを修了するために、必ず履修しなければならない科目と選択できる科目を区別するためで、成績表での科目区分とは異なります。たとえば、Q 1にあるように、「共通基礎科目」は「プログラム必修科目」ですが、成績表では「選択科目」となり、他学部・他学科の科目を履修した場合と同様の扱いになります。また、「プログラム選択」科目として指定されている科目が、自学科で「選択科目」として開講されているものあれば、成績表では「自学科選択科目」となります。「全学共通科目」については、Q 2のとおりです。

*なお、強い履修意志があるにも関わらず抽選に外れた等の理由で履修ができない状況にある場合は、履修登録期間内に、「履修相談窓口」まで相談してください。

各種問い合わせ先

●文学部長室（7号館10階1011室）

月～金 9：00～17：00（除く11：30～12：30）

●履修相談窓口（7号館8階0820室）

時間帯 応相談：sophia.fhu.pd@gmail.com

（メールでアポイントを取ってください）

横断型人文学プログラムの載っている文学部HP

<http://www.sophia-humanities.jp>